



め た せ こ い あ

至 創 努 校
誠 造 力 訓

島根県立吉賀高等学校 〒699-5522 鹿足郡吉賀町七日市 937
電話 (0856)78-0029 FAX (0856)78-0742
HP アドレス <http://www.shimanet.ed.jp/yoshika/>

入学者選抜の変更について

吉賀高等学校 校長 齋藤雅典

吉賀高校は27年度入試から入学者選抜の方法を次のように変更します。

連携型中高一貫教育校に係る入学者選抜（特別選抜）の募集人員を定員の50%とし、その合格内定者を除いた残りの人員は一般選抜によって選抜する。

（注）吉賀高校の募集要項に50%と記載する予定です。

この変更のねらいは2つあります。1つは、町内の中学生が学習に向かって努力する環境を整えることです。13年前に中高一貫教育が始まった当初から、地域には5教科の学力検査を受けなくなると子どもが勉強しなくなるのではないかと、特別選抜に対する不安の声がありました。今でも、こうした声をしばしば聞きます。何も努力しなくても吉賀高校に合格できるという子ども達の意識を変えて、子ども達に努力を促したい、ということがこの変更の大きなねらいです。

吉賀高校は町内唯一の高校として町内の子どもたちを受け入れ、将来吉賀町に貢献する人材の育成をめざしている学校です。それを考えれば、特別選抜の募集人員は、入学定員の80%以上とすべきかもしれません。そうであるのに、中学校の先生方の考えも聞いた上で、あえて50%としました。この変更により、20名を超える出願があれば特別選抜で不合格者が出る可能性が生まれます。特別選抜では、中高一貫教育がめざす生徒像、「基礎・基本を身につけ、努力する生徒」「ふるさとを愛する生徒」「たくましく生きる生徒」に関して、中学時代にどう努力してきたかを評価することになります。この面での子ども達の努力を促したいのです。

また、特別選抜で不合格になった場合は一般選抜を受ける、つまり学力検査を受検することになります。したがって、受検を念頭に置いて、早い段階から5教科の勉強に努力することが必要になります。特別選抜にせよ、一般選抜にせよ、入学者選抜という機会をうまく活かして、子ども達の努力する姿勢を育てたい。これが50%の意味なのです。

しかし、懸念していることがあります。不合格の可能性を敬遠して、特別選抜の出願が募集人員を下回り、一般選抜と合わせた町内からの出願がさらに減少してしまうことです。そして、町外からの出願の可能性を考慮したとしても、結局、特に努力をしなくても吉賀高校には入学できたと、子ども達が受け止めるような結果になれば、特別選抜の募集人員をあえて50%にしたことのねらいは達せられなかったこととなります。さらに、特別選抜の志願者が少ないということは、この地域の中高一貫教育を地域自ら否定したと受け止められるかもしれません。そうなることは、吉賀高校の存在意義を問われかねない重大な問題であると、私は考えます。

さて、変更のもう1つのねらいを述べます。それは、町外・県外の中学生が受験しやすくすることです。これまで町内中学校からの出願が定員を超えれば、他からは出願することができませんでした。しかし、4年後には町内中学卒業生が40名程度になる状況であり、さらにその先のことも考えれば、町の定住（UI ターン）施策と連携して、町内に子どもを増やすための取り組みを始める必要があるということを考えました。

今回の変更は、生徒募集のことと同時に、この地域の子どもの努力を促すために考えたものであることを理解していただきたく、説明をしてきました。ご意見などがありましたらお聞かせいただくと喜びます。

キャリア教育・アントレプレナーシップ教育

5月から2年生のキャリア教育・アントレプレナーシップ教育(起業家精神に学ぶ)がスタートしました。この授業は町の「サクラマス・プロジェクト」の一環として実施しており、吉賀町での仕事・可能性を学びながら、「自分たちは吉賀町で何ができるか」を考えます。

第2回目(5月26日)は『吉賀町で起業をする意義 講演会』として、もったか花園代表の小田圭二さんにお話をいただきました。



JENESYS 2014

昨年に引き続き、JENESYS(ジェネシス)が開催されました。ジェネシスは『21世紀東アジア青少年大交流計画』という外務省の企画です。この企画を吉賀町が受け入れ、町が主体でイベントが実施されました。吉賀高校訪問はその企画の一つとして実施されました。全校生徒がイベントに参加し、アジア地域の青少年たちと積極的に英語でコミュニケーションをとろうと、身振り手振りを加えながら一生懸命言葉を伝えようとする姿がありました。

双方の語学力が不完全であっても、楽しいというお互いの気持ちは十分に伝わったようでした。翌日、ある生徒が「昨日、英語でメールするの大変だった」と楽しそうに話していました。メールアドレスの交換をしたようです。英語学習への意欲向上に、とても大きな効果を発揮した取組であったように思います。



島根県総合体育大会結果

5月下旬から6月上旬にかけて島根県高校総体が開催されました。総体は全国大会につながることもあり、高校の体育系部活動に所属しているほとんどの生徒にとって最終目標となる大きな大会です。吉賀高校の生徒も精一杯力を尽くしました。

○サッカー部 キャプテン：山本隆聖

僕たちサッカー部は5月31日に益田市の自由広場で松江農林高校と試合をしました。前半にカウンターのような形で先制され、そのまま点を入れることができず0-1で敗れました。

松江農林高校は、中盤のところでのプレスが激しく、なかなか上手くボールをまわすことが難しかったです。後半あたりからプレスが弱くなってきたので、ボールをまわすことができ、シュートできるまで攻め込むことができましたが、シュートが入らず得点なしのまま試合終了となりました。

今回の試合では、シュートの決定力と引いて守る相手をどのように崩していくかの2つが課題であると思いました。この2つの課題を選手権までに修正していきたいです。

僕たち3年生は、これから進路への取り組みのため、練習や試合に出られなかったりということがあるので、練習ができる時はしっかりハードワークをして、いつでも試合でいいプレーができる準備をしていきたいと思います。今回応援に来てくださった地域の方々には本当に感謝しています。勝てなかったことはとても悔しいですが、冬に選手権があるので、そこで勝てるようにがんばります。また応援をよろしくお願いします。

<顧問コメント>チーム一丸となり、試合に臨みましたが0-1の惜敗でした。試合は優位に進めながらも、相手の堅い守備に阻まれ、最後まで得点することが出来ませんでした。保護者の方、地域の方、吉高の生徒、先生、OBなどたくさんの方の応援には、大変感謝しています。期待に答えられなかったことは残念ですが、選手権に向けてもう一度一丸となり頑張りたいと思います。



○男子バレーボール部 キャプテン：小田英生

僕たち男子バレーボール部は、6月6日に浜田市の島根県立体育館で松江南高校と対戦しました。吉賀高校の試合は3試合目で、他校の1・2試合目を観戦することで各自が気持ちを高めて試合に臨みました。

会場は広く他校の応援団がたくさんいて、なれない環境での試合となりました。松江南高校はベスト8のチームなので油断せず集中して戦いましたが、結果は0-2で完敗でした。相手が僕たちより強かったのかもしれませんが、自分たちのミスが多かったということも負けた原因であると思います。残念ながら、僕たちは自分たちが納得できる試合にすることができませんでしたが、皆で一生懸命がんばりました。応援してくださった方には感謝しています。ありがとうございました。

<顧問コメント>男子バレーボール部は2回戦で松江南高校と対戦し、セットカウント0-2で敗れました。総体に向けて練習試合を重ね、まずは1勝そしてベスト8を目指して取り組んできましたが、悔しい結果となりました。大きな舞台で実力を発揮しきることの難しさを改めて感じた大会でした。応援して下さった皆さまに厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



○陸上競技部 キャプテン：植村聖也

陸上部は5月30日から6月1日の3日間、松江市営陸上競技場で競技をしました。種目は100m、200m、砲丸投げでしたが、いずれも上位に進出することはできませんでした。悔しい結果になりましたが、そんな中でも自己ベストを出した人もいて、練習の成果は十分に出たと思います。僕は今回が最後の総体になりました。中国大会を目指し寒い時期から練習をがんばってきましたが、総体では良い記録を出すことはできませんでした。それでも今の自分の力をしっかり出すことはできたと思うので悔いはありません。1年生、2年生はこれからも大会があるので、さらに記録を伸ばせるように練習をがんばってほしいです。応援ありがとうございました。

<顧問コメント>結果は各人各様。

植村聖也：	男子砲丸投（決勝）	記録なし
河村春樹：	男子砲丸投（決勝）	7m06（18位）
井上雄大：	男子200m（予選）	27秒00
桑原太一：	男子100m（予選）	13秒59
山口航洋：	男子100m（予選）	13秒02



○ソフトテニス部 キャプテン：兒玉飛鳥

私たちソフトテニス部は6月5日～7日の3日間、松江市営テニスコートで県総体に出場しました。結果は以下の通りです。

【個人戦】	（1回戦）	（2回戦）
森崎・中村ペア	4-1（瀬摩）	1-4（出雲）
道面・桑原ペア	4-1（出雲商業）	2-4（情報科学）
兒玉・正中ペア	1-4（大東）	
前田・宗内ペア	0-4（浜田）	

【団体戦】

[1回戦] 3-0（瀬摩） [2回戦] 0-2（松江商業）

今回の県総体で、他の強豪校との力の差を知りました。その中で良かった点、悪かった点が明確に分かりました。なので、その強豪校との力の差を埋めるために、これから次の県総体に向けて9人で一丸となり、技術・自信・精神力を練習の中で身につけ、レベルアップしたいと思います。そして、「中国大会出場」を目指してこれからも精一杯がんばりたいと思います。本当に応援ありがとうございました。

<顧問コメント>雨で何時間も待機する中、緊張感をどれだけ保てるか、自分自身との戦いであった総体。納得できる試合、ラリー、サーブ、レシーブ、ボレー等各自1つはあった。それ以上に悔しさを体験した。この体験を活かし、秋に向け練習していこう。雨の中、応援に駆けつけて下さった保護者の皆様、校長先生、熊谷前教頭先生本当にありがとうございました。



中高一貫教育だより -吉賀地域中高一貫教育事務局(島根県立吉賀高等学校内) -

5月29日（木）吉賀中学校で理科部の活動として、高津川水質調査が行われました。講師に吉中力さん（前吉賀町教育委員会次長）をお招きし、高尻川と高津川の合流地点でカゲロウやトビケラなどの水生昆虫を採取したり、ヨシの中に足を突っ込んで「ガサガサ」して魚を捕ったりしました。生徒は、体全身で高津川に触れ、ふるさとの自然に包まれていることを感じる事ができました。

